

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

## 2016年2月 顕現節

### 悔いる心を得る恵み ～寒稽古から大齋節に～

イエスは言われた。「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。」(マタイ4:10)

司祭 ミカエル 小南 晃

例年2月には月報表題に「顕現節」と題させて頂いていますが、今年の場合、2月10日には「大齋節」に入ることになります。

大齋節がいつから始まるかは、その年の復活日によって決まり、その復活日は「春分の次の満月の次の日曜日」と定められています。

その結果、復活日は一番早ければ3月22日、一番遅ければ4月25日ということになります。

ですから復活日はどちらかというと4月の方が多いのですが、今年の復活日は3月27日ですから、その分、大齋節も早く始まるということになります。

#### 「寒」の終りに

ところで先月25日前後、数十年に一度の大寒波襲来がニュースになりました。沖縄でも雪が観測され、各地の降雪被害のニュースなどが伝わりました。当牧師館でも、久々に窓枠の外に氷柱がぶら下がっているのを見ました。

一年で一番寒い時期を「寒」と申します。1月20日頃に最も寒いとされる「大寒」を迎え、それから15日程で「立春」、即ち春を迎えて終わるとされています。

大寒波はまさに「大寒」に訪れたわけですが、この寒の時期には、武道や芸事では「寒稽古」が行わ

れてきました。これは寒さに耐えながら稽古や練習を行なうことで、技術の向上と共に精神の鍛練を目指そうとするものです。

そしてこの寒が終りを迎える2月3日の節分に、「鬼は外、福は内」と「豆まき」が行われます。これは春を迎える前に邪気を払うことに由来すると言われます。

#### 大齋節を迎えて

この「鬼」、「邪気」を払うという「鬼は外」に少し似た言葉が聖書にもあります。それが冒頭の聖句の「退け、サタン」です。

主イエス・キリストは救い主としての活動を開始されるにあたり、まず荒野に出て行き、40日40夜断食して悪魔(サタン)の誘惑と闘われました。そして悪魔に打ち勝たれた時の言葉がこの言葉です。そしてそのことに因んで私たちキリスト者も、自らを振り返り、自分に打ち克つことに努め、信仰の刷新を目指す季節、「大齋節」を迎えます。

最初にも申したように、今年は2月10日(水)に大齋始日を迎えます。寒稽古が2月3日の「鬼は外」で終わるとほぼ入れ替りに、キリスト教の克己と修練と忍耐の季節である「大齋節」が、「サタンよ、退け」の言葉と共に始ま

るということです。

#### 悔いる心を得る恵み

克己、修練を要することに敢えて挑戦して克服した時には勝利感が味わえるかも知れません。しかしそうした勝利感は時に高慢ともなる危険があります。

大齋節は、そうした勝利感に向けてなされるものではありません。むしろ「新たな悔いる心」に向かうためです。克己、修練に取り組み、誘惑に打ち勝つ努力を誠実にしてこそ、返って自分の弱さを知って謙虚になり、同時にそのような自分が愛され、救われ、導かれている恵みに気付くことになる筈なのです。

使徒聖パウロは『内なる人』としては神の律法を喜んでいますが、わたしの五体にはもう一つの法則があつて、心の法則と戦い、わたしを、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのが分ります。(ロマ書7:22-23)」という嘆きの声を上げました。彼がかつてはファリサイ派として律法厳守に努めに努めて来たからこそ、その気付きなのでしょう。そしてだからこそ、その惨めな状況からの救いについて「わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。(ロマ書7:25)」と歓喜の声を上げているのです。

大齋節を迎えるにあたり、主が私たちの内に悔い改めの心を新たに起こして下さり、自らの罪を悲しみ、その災いを悟り、そして完全な赦しと平安のもとに、喜びの復活日を迎えることができますように祈り求めたいと思います。

#### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
" 9時15分 教会学校  
" 10時30分 聖餐式・説教  
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
土 午前10時30分 教会掃除  
(ご奉仕をお願いします)

